



あらかわ区報 Jr.

ArakawaKuhō Junior

平成27年5/25

発行 荒川区●23,000部発行
〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 ☎(3802)3111



英語って楽しい!

区は、平成16年度から全小学校の全学年で英語教育をスタートし、英語を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を身につけることを目標に取り組んでいます。今号では、どのような授業が行われているのか、小学校の英語の授業を紹介します。問合せ 教育委員会事務局指導室 ☎内線3388



英語を身近に感じよう

荒川区の英語教育の特長

ポイント

point

1 授業は担任の先生が中心

授業は学級担任の先生を中心に、外国人英語指導員や英語教育アドバイザーが発音指導や会話などをサポートするんじや。英語に親しみながら、積極的に英語で会話できるよう工夫しておるぞ。

ポイント

point

2 全学年に英語の授業

1・2年生は歌やリズム遊びで楽しく、3・4年生はゲームやロールプレイでコミュニケーションの基礎を養うんじや。5・6年生は簡単な英語を使った対話や英文の読み書きを行うんじやよ。

ポイント

point

3 週に1時間、年間35時間

小学校の全学年の教育課程に「英語科」を設置して、週に1時間の英語の授業を行っておるぞ。1年生は年間34時間、2年生以上は年間35時間の英語の授業があるんじやよ。



ケネディ駐日米国大使が第一日暮里小学校を訪問しました

ケネディ大使が、日本の小学校での英語教育の現状を把握するにあたって、第一日暮里小学校を訪問しました。一日小は、1年生から英語教育に力を入れている一方、平成23年度に「東京都教育委員会言語能力向上推進校」に指定されるなど、学校図書館教育も推進しており、詩人の高村光太郎の出身校でもあります。

訪問当日、ケネディ大使は、児童との挨拶や自己紹介・カードなどを使った授業に参加しました。また、ケネディ大使が英語の詩を児童に読み聞かせるなど、児童との交流も行いました。

▲キャロライン・ブービエ・ケネディ大使は、2013年にバラク・オバマ大統領から第29代駐日米国大使に指名されました

詳しくは2・3面をご覧ください



あらかわ区報 Jr. は荒川区ホームページでご覧になれます

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kusei/koho/koho/arakawakuhojr/index.html>



次は6月に発行する予定です



▲「Cの次は何か?」と担任の松本先生が問いかけると、全員が「ハイ!!」。アルファベットのカードをABC順に並べていきます

▶「はい、Cの次はD!」よくできました!先生がテンポよく進めながら、児童たちを応援します



まちなだ



▲「What's this? (これは何ですか?)」タブレットで絵と単語を結びつけた後、葛城先生が電子黒板で答え合わせ。単語一つ一つを丁寧に外国人英語指導員が発声して指導します

▶「What's that? (あれは何ですか?)」「Duck! (アヒル)」。電子黒板に出る動物などをみんなで発音



◀「これはどこかな?」「Fの隣じゃない?」「よし、できたぞ!」。仲間同士で協力し合って、パズルに挑戦。もうすぐ完成だ!



▲ジグソーパズルは、絵の中にアルファベットが散りばめられています。「この字はMじゃない?あと半分を探そう」と、先生と一緒にピースを探します



▲歌に合わせて踊りも元気よく。あいさつをしたり、指で数を数えたり。体を動かしながらアルファベットや数字の読み方を覚えます



◀3年生の授業。身振り手振りを交えて「Hello, Hello, Hello〜♪」と英語の歌を歌います



▼みんながタブレットに取り組んでいる間、先生が一人一人の席を回って、進み具合をチェック



▲「これはSki, Tennisはこっち」と、タブレットの画面に出たスポーツの絵に合わせて、英単語を動かします



英語の本を
読んで
みたいな



すみちゃん

▶ケネディ大使がプレゼントしてくれた絵本を朗読。分からないところは質問しながら熱心に聞き入っています



◀5年生になると、アルファベットの歌にも単語が登場してきます。「A, A, A... Apple!」元気に歌います

タブレットを使った英語の授業、
とっても楽しいよ!



歌や踊り、バスルで
楽しく英語を学ぶ3年生
「Good afternoon! (こんにちは)」「Hello! (こんにちは)」松本先生、吉村先生。3年生が英語であいさつした後、授業は英語の歌からスタート。元気な声で踊りも交えながら、あいさつやアルファベット、数字などを歌で学びます。

1・2年生までは歌や踊りを通して楽しく英語を学びましたが、3年生になると文字の勉強も始まります。

5年生は単語を習って
発音もしっかり練習
5年生からは、外国の生活・習慣・文化を学びながら英語に取り組み、簡単な英語の文の読み書きも勉強します。

この日は、アルファベットの歌を歌ってから、電子黒板で英単語を学習。学級担任の葛城貴代先生が電子黒板に出てくる絵を指して「What's this? (これは何ですか?)」と問いかけると、みんなが一斉に答えます。

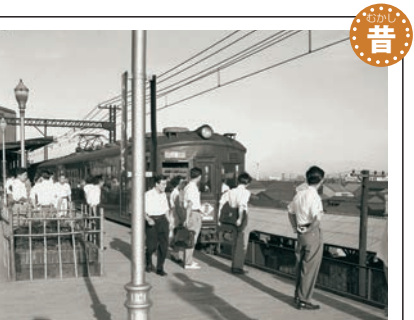
次に、外国人英語指導員が発音指導。吉村先生は「Basketballは、頭を強く叩く」と言いながら、児童は「英語もタブレットも好きだからおもしろい」「発音をしっかりと教えてもらえるので楽しい」「将来はスポーツ選手になって外国に行きたい。だから英語も頑張らなくちゃ」と、児童たちは英語や外国に興味を持っていました。

区内の全小学校の英語授業は、学級担任の先生が中心となり、外国人指導員と英語教育アドバイザーの協力によるチームティーチングであることが大きな特徴です。どのように授業が行われているか、第一日暮里小学校の3年生と5年生の授業の様子を紹介していきます。

懐かしいあの日のあの日 No.23 思い出写真館 JR三河島駅の今と昔

3月14日、「上野東京ライン」が開業し、上野駅止まりだった常磐線が品川駅までつながりました。約60年前にも、常磐線は通勤時間帯だけ有楽町駅まで乗り入れていました。

2つの写真は、同じ三河島駅のホーム上から撮影したものです。



▲有楽町行きの電車が到着。通勤の足として、多くの人が利用していました

▲品川行きの電車が到着。新たな歴史が始まりました

ケネディ大使が英語の詩をみんなに読んでくれました!!



▲英語の歌を、元気いっぱい踊りを交えてみんなで歌います

4月14日、児童たちがアメリカと日本の小さな国旗を振って盛大に出迎える中、ケネディ大使が第一日暮里小学校に到着されました。

2年生の英語の授業では、ケネディ大使から児童たちへ、2編の詩と絵本「Good night moon」の読み聞かせがありました。ケネディ大使が「Keep a poem in your pocket…」と丁寧に読んでくださると、児童たちは真剣な表情で聞き入り、最後に「Thank you!!」と、大きな拍手でお礼を伝えました。

その後、学校図書館や5年生のタブレットPCを活用した英語の授業を見学し、手を振る児童たちに見送られる中、笑顔で小学校を出発されました。



▲読み聞かせが始まると、児童たちは真剣な表情で聞き入っていました

▲学校図書館では、ケネディ大使と児童たちが「夢」について話す場面も



▼春休みには、卒業生や歴代のOBがコーチとして練習に参加しました



男子は、部員が全員揃うという事は多くありません。しかも、練習中は集中ができません、うるさくなってしまう

男子部長 田中菜夢
女子部長 庄博

部活動



▲春・夏ともに好成績を残すために日々、努力しています

原中学校

町屋5-12-6

生徒が部活動を紹介します
卓球部

私達原中学校卓球部は、三年生13名、二年生11名、一年生10名の計34名で活動しています。毎日の放課後練習と朝練習、土・日や祝日は練習試合を行っています。

今年度は小学校からの卓球経験者4人が入部してくれました。四人以外にも入部を決意してくれた人がいます。男子は、総勢20人以上という大規模な部活になりました。これから、身も心も一新し、部員全員が「集中する」「楽しむ」卓球部として切磋琢磨し、春・夏の大会で結果を残せるように頑張っています。

学校訪問

学校自慢

尾久宮前小学校

西尾久1-4-17

学校の自慢を児童が紹介します



▲食育の授業
(三河島菜の収穫)

鮮の里親事業
最上川の上流
で放流します

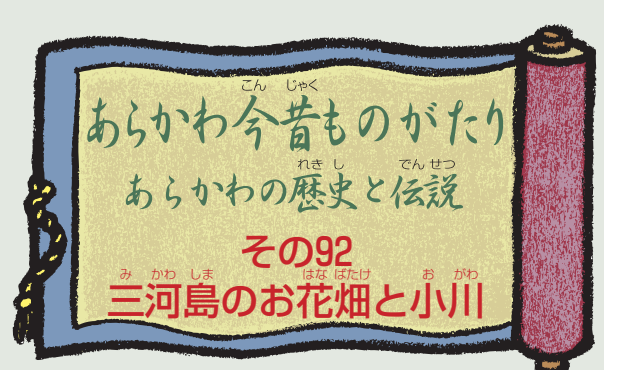


江ノ豆、三河島菜、五年生は、

執筆者 富江 仁・土井聡華
松木柱太・田村海翔

尾久宮前小学校は、去年80周年を迎えました。記念式典では、宮前小学校の伝統である八木節を全児童で演奏しました。気持ちを一つにし、楽しく演奏することができました。

米を栽培しています。収穫した後は、自分たちで調理して食べました。三河島菜とは、一度絶滅したと思われた野菜で、宮前小でも復活をさせて、毎年種を受け継いでいます。二つ目は、鮭の放流と鮭川村との交流です。



その92
三河島のお花畑と小川

そう、「春の小川」。この歌は、大正時代の代々木(渋谷区)辺りの景色を歌ったと言われている。でもね、昔々の三河島にもこんな景色が広がっている所があったんだよ。

メダカ・ドジョウも名産
そのころの三河島村は田畑が広がる農村で、三河島菜の産地として知られていた。農業に必要な水を確保するため、あちこちに小さな川が流れていた。今の明治通り沿いを流れていた小川は、幅が約2メートルもあった。この川は地蔵堀の石地蔵(荒川三丁目)の元の位置、サンパール荒川(荒川一丁目)の所で二つに分かれ、一つは大名屋敷(現ジョイフル三ノ輪商店街・第六瑞光小学校付近)方面に向かい、もう一つは北上して荒川(現、隅田川)に合流した。地蔵堀とか江戸堀と呼ばれ、河口の幅は5・4メートルもあったんだって。三河島の小川には、メダカが多く見られたそう。江戸

感謝の気持ちを伝えたい 釜石・唐丹中の生徒10人が 虎舞を披露しました

4月17日、交流都市の岩手県釜石市から、唐丹中学校3年生10人が荒川区に訪問、迫力ある華麗な虎舞を披露しました。練習の成果を発揮し、「震災後のご支援への感謝の気持ちが伝えられてうれしいです」と笑顔で話していました。また、虎舞を目の前で見た第二峡田小学校1年生の児童は「本物の虎みたいでかっこよかった!」と目を輝かせていました。



▲感謝の気持ちが込められた虎舞に大きな拍手が起きました

第三日暮里小のチームが ドッジビーの東海大会で優勝!

3月1日、静岡県浜松市で開催した「第4回広域ドッジビーコンペティション東海大会2015」小学生部門で、第三日暮里小学校の児童によるチーム「三日ファイターズ」が優勝し、3月17日、西川区長を訪問しました。



▲西川区長(写真中央)と三日ファイターズの児童たち